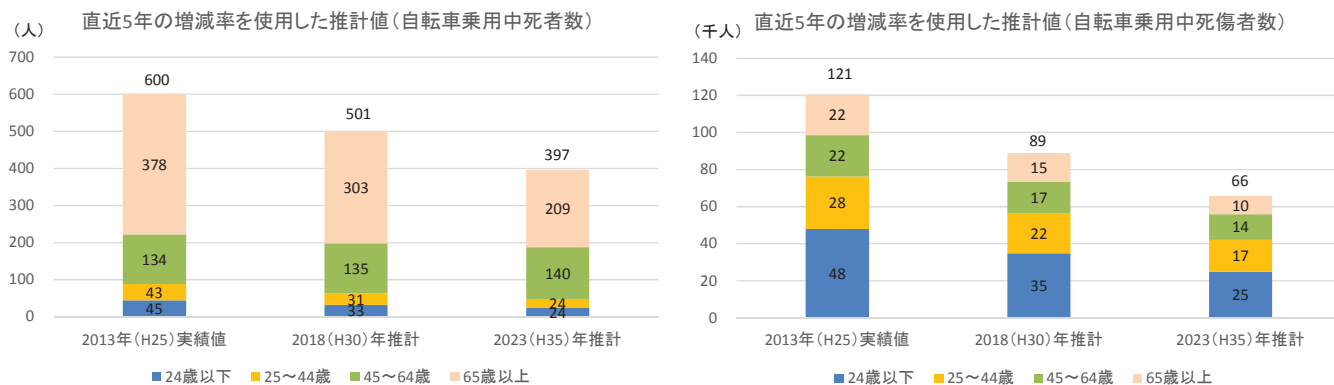
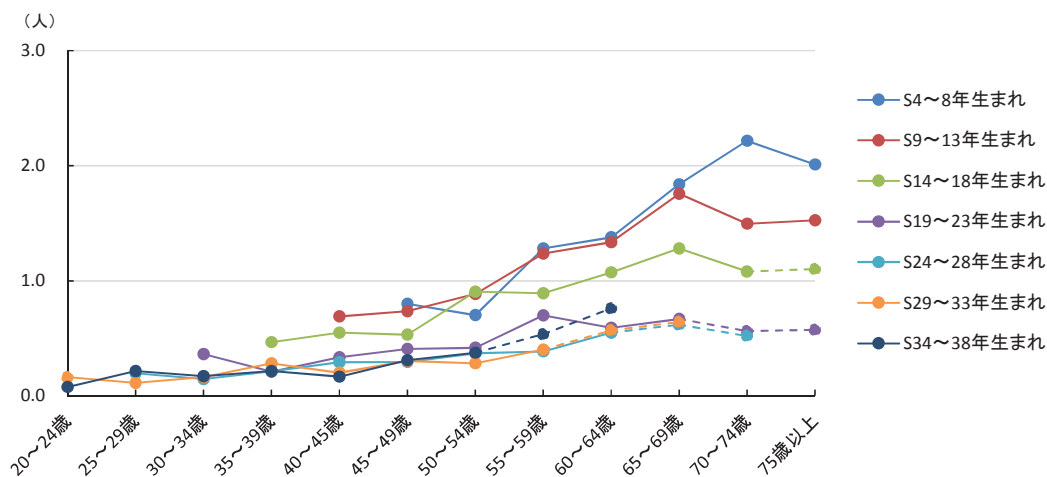


C) 自転車乗用中

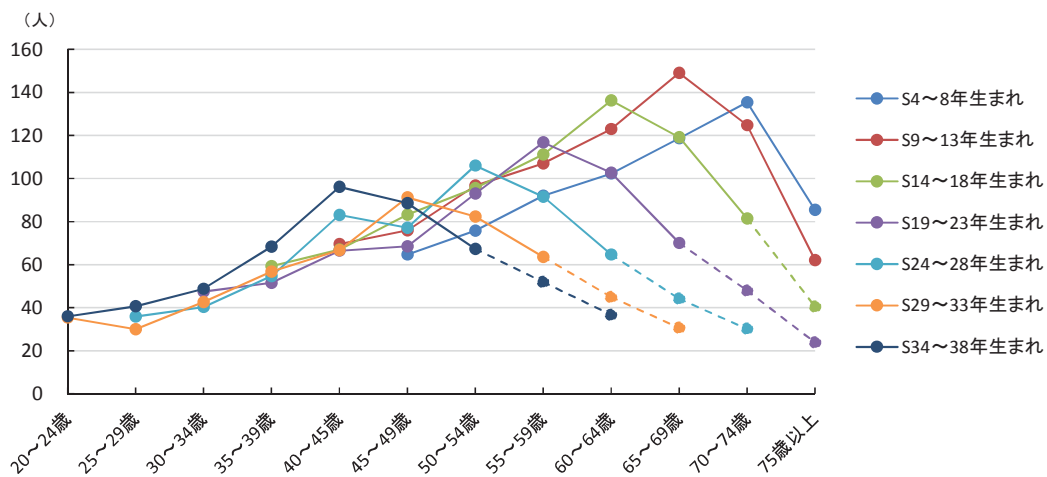
図表 3-46 年齢階層別人口 10 万人あたり死者数・死傷者数（自転車乗用中）の予測結果



図表 3-47 年齢階層別生まれ年別人口 10 万人あたり死者数（自転車乗用中）の設定

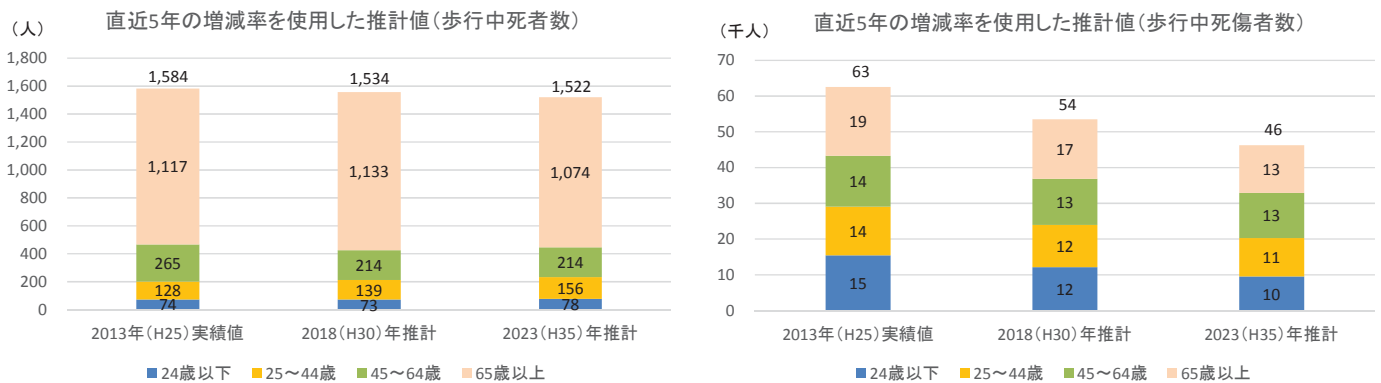


図表 3-48 年齢階層別生まれ年別人口 10 万人あたり死傷者数（自転車乗用中）の設定

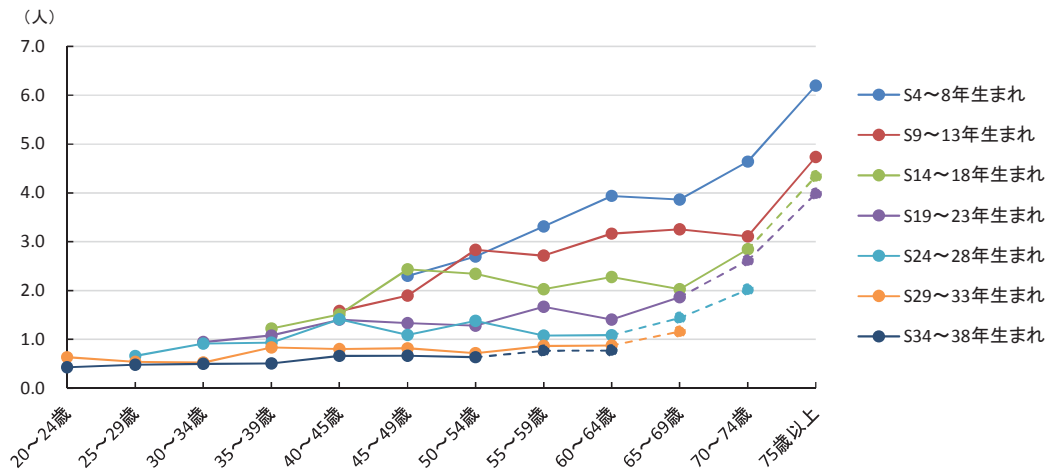


D) 歩行中

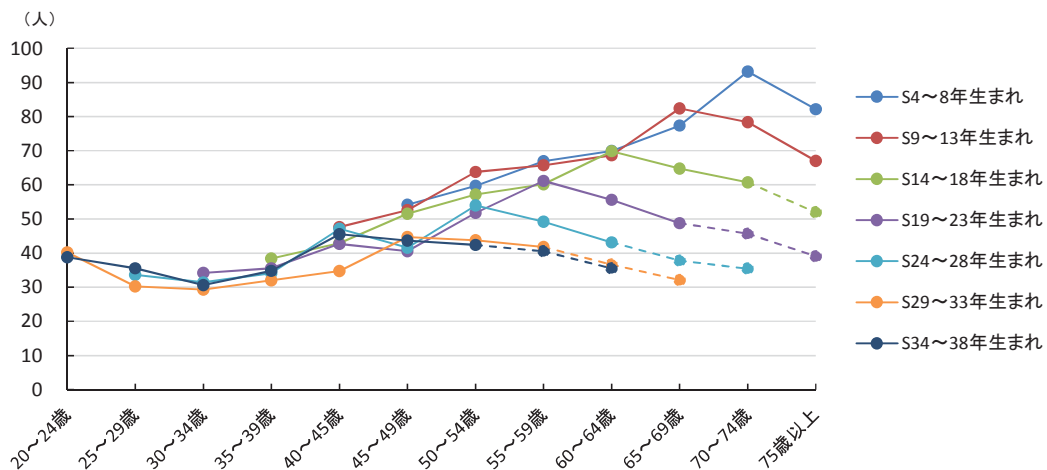
図表 3-49 年齢階層別人口 10 万人あたり死者数・死傷者数（歩行中）の予測結果



図表 3-50 年齢階層別生まれ年別人口 10 万人あたり死者数（歩行中）の設定



図表 3-51 年齢階層別生まれ年別人口 10 万人あたり死者数（歩行中）の設定

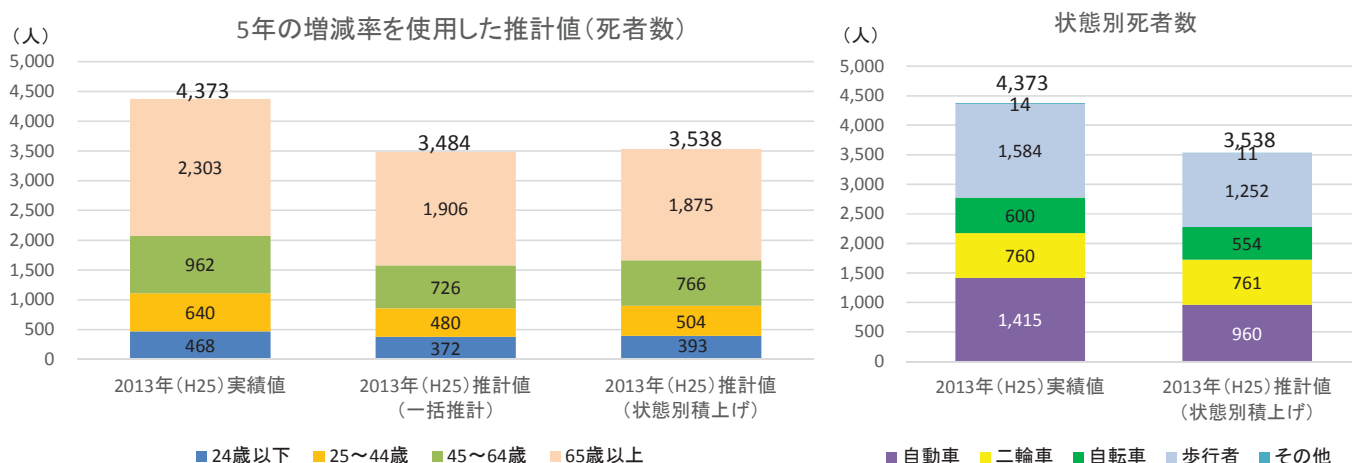


■参考：当該手法による予測値と実績値の乖離可能性の確認について

当該手法による予測値の振れ幅を確認するため、2008年（H20）年の年齢階層別事故率を起点に、2003（H15）年から2008（H20）年の生まれ世代別事故率の変化を参照し、2013（H25）年における年齢階層別死者数、死傷者数を推計し、実績値との比較を行った。

- ・死者数をみると、2013（H25）年における実績値 4,373 人に対し、推計値は状態別一括で推計した場合は 3,484 人、状態別に推計して積上げた場合は 3,538 人となり、2 割程度下方に推計される結果となった。
- ・これは、推計に用いた 2003（H15）年から 2008（H20）年の事故率変化と、実績としての 2008（H20）年から 2013（H25）年の事故率変化に差異が生じたことが要因と考えられる。
- ・死傷者数をみると、2013（H25）年における実績値 78.6 万人に対し、推計値は状態別一括で推計した場合は 75.8 万人、状態別に推計して積上げた場合は 76.1 万人となり、ほぼ同程度の値となった。

○2013（H25）年における死者数の推計値と実績値



○2013（H25）年における死傷者数の推計値と実績値

